

根本復興大臣に9項目を要望



根本復興大臣が5月26日、市役所を訪れ、富塚市長と会談し意見交換しました。(写真上)会談では、富塚市長が市の現状と風評被害による影響を説明し、下記の9項目を要望しました。

- ①除染作業員の特殊勤務手当で賃金格差が生じているため作業員が確保できず、除染作業が遅延している問題の是正
- ②避難指示解除準備区域指定の早期解除
- ③産業復興に向けた農地転用などの要件緩和
- ④磐越自動車道へのスマートインターチェンジ設置
- ⑤都路地域への公設による商業施設整備
- ⑥国道399号の整備促進
- ⑦国道288号船引バイパスの整備促進および休止区間の再採択
- ⑧双葉地方と中通りを直結する県道吉間田滝根線改築工事の国直轄代行による早期完成
- ⑨滝根地区統合小学校建設事業計画にかかる復興交付金事業の採択

会談後に根本復興大臣は、市が除染作業している常葉町山根地区の一般住宅現場(写真中)と、国が直轄除染し廃棄物を仮置きする都路町古道地区の小滝沢一時保管所を視察し、担当者から保管方法などの説明を受けました。(写真下)

あぶくま洞で安全祈願祭



あぶくま洞が開洞してから40周年を迎えた記念日の6月1日、あぶくま洞敷地内の阿武隈神社で「鍾乳洞入洞者安全祈願祭」が行われました。快晴の下、午前11時から始まった安全祈願祭には、菅谷神社の関係者や市の関係者、あぶくま洞の発展に携わった方などが出席し、1年間の入洞者の安全と施設の無事故を祈願しました。あぶくま洞の来場者数は風評被害が影響して減少しましたが、徐々に回復しています。

あぶくま洞に応援メッセージ



多賀中学校(茨城県日立市)の2年生167人が宿泊学習のため田村市を訪れ、あぶくま洞に応援メッセージと義援金を届けました。見学に先立ち、代表の関愛莉紗さん、一関郷子さんが梅澤産業部長に生徒一人一人がつづいた「がんばれ!あぶくま洞」のメッセージ入りポスターと浄財を手渡しました。梅澤部長は「市内には避難生活を続ける方がいます。大切に活用させていただきます」とお礼を述べました。

未永くお元気で 石川タマさんに百歳賀寿



船引町石沢の石川タマさんが、6月12日に満百歳を迎えられました。賀寿贈呈式では県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会、船引町老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金、石沢行政区から祝金が贈られました。会場には約百人の方が祝福に集まりました。タマさんは終始にこやかに応対し、カラオケでは水戸黄門のテーマ曲を歌い、自慢ののどを披露しました。

青空の下、元気な声が響く



大越小



船引小

好天に恵まれた5月の土曜日、市内の各小学校で運動会が開かれました。開催場所はグラウンドや体育館とさまざまでしたが、1年生から6年生までの児童が元気いっぱい色々な種目を競い合い、演技し合いました。紅組、白組ともに接戦で、最後のリレー競技は盛り上がり、応援する児童と保護者から温かい声援が送られていました。鼓笛パレードも披露され、一糸乱れぬ行進と素敵な演奏を響かせました。お昼には、保護者の皆さんが持参したお弁当を笑顔で頬張る、子どもたちのほほ笑ましい光景が見られました。

山ツツジに大勢の登山客



3万本の山ツツジと360度のパノラマが楽しめる高柴山が、5月26日に山開きしました。山頂では午前10時から大越町・船引町・小野町観光協会主催の安全祈願祭が行われ、シーズン中の無事故を祈願しました。

当日の山ツツジは5分咲きでしたが、市内外から2千人を超す家族連れや登山愛好家が訪れました。山頂では、とん汁が無料で振る舞われ好評でした。